

# そば若菜の栽培法

(園試、高冷地南茶センター)

## 1. 背景とねらい

そば若菜は発芽後本葉展開までの生育初期のものを食用に供するものである。そば若菜は健康食品として注目されており、若干の酸味をもった独特の風味があることから、オリジナル品目として、また一種の軟弱野菜として需要の開拓が期待される。

そこで、そば若菜をカイワレ形態と菜形態とに別け、この両型の作出を目的に、は種量や遮光量、培地等について検討した結果一応の成果が得られたので参考に供する。

## 2. 技術内容

1) そば若菜のカイワレタイプ、菜タイプ別の形態上の特徴と栽培条件は次のとおりである。

種類	形 状	は種量 培地	照度(遮光量)	温度条件 (所要日数)
1.カイワレ タイプ	茎-細い(直径0.1cm) 草丈-短い(8~10cm) 茎色~白又は赤	1.0g / m <sup>2</sup> 紙 (ビロ マット)	白茎 照度1000lux (黒寒冷紗4枚遮光) 赤茎 照度3000lux (黒寒冷紗2枚遮光)	発芽(種皮落ち)まで 赤温25~30℃ 以降気温 夜15℃ 以上、昼25℃前後 (収穫まで8日前後)
2.菜タイプ	茎-太い(直径0.2~ 0.3cm) 草丈~長い(20cm前後) 茎色~赤	4~5g / a 土 (ハウス 内地 床)	茎を太くする。 照度10,000~30,000 lux (ハウスビニールのみ 又は必要に依り日中 ビニールトンネル程 度で特に遮光は行わない)	地温(最低地温) 12~20℃ 気温 夜15℃以上 昼20~30℃ (収穫まで15日前後)

2) 適産地域 県下全域

## 3. 指導上の留意事項

1) カイワレタイプそば若菜栽培

(1) 種子を水浸けすると発芽不良となるので浸種しない。

(2) 灌水は発芽まで毎日1~2回、発芽後種皮落ち時期まで軽く1日1回程度、茎が伸びてからの灌水は茎を曲げるので注意する。

(3) 種皮が落ちるまでは床内の湿度を高くする。

2) 菜タイプのそば若菜の栽培

(1) 光輝量と茎の肥大との相関が高いのでハウスビニールやトンネルビニールは汚れているものをを用いる。保温は夜は必要に依りトンネルビニールの外にシルバーなども用いる。

(2) 施肥はN、P、K各3kg(10a当り)施す。野菜跡地では無施肥とする。

(3) 覆土は0.7cmぐらいにある。灌水は、は種前に充分に行い、生育中の灌水は極力少ない。

## 4 参考文献、資料

昭和58~59年地域農業開発拠点試験地事業試験成績書

5 試験成績

1) カイワレタイプ そば若菜の栽培法

表1 は種量と生育・収量

は種	は種量 (m <sup>2</sup> 当)	生育			収量 g/m <sup>2</sup>	草丈の分布 %						収穫 月日
		草丈 cm	茎の太さ cm	種皮残 %		5.0cm 以下	5.0~ 7.5	7.5~ 10.0	10.0~ 12.5	12.5~ 15.0	15.0~ 17.5	
11月14日	1.5l	12.6	0.09	5.0	6.166	0	0	0	60.0	35.0	5.0	11月22日
	2.0	12.2	0.09	5.0	6.483	0	0	5.0	60.0	35.0	0	"
	3.0	10.8	0.09	30.0	6.333	0	15.0	20.0	40.0	15.0	10.0	"
	4.0	9.5	0.09	30.0	8.833	30.0	10.0	5.0	20.0	25.0	10.0	"
2月6日	0.5	9.9	0.11	10.0	2.000	0	5.0	35.0	60.0	0	0	2月15日
	1.0	10.4	0.10	10.0	3.928	0	0	20.0	80.0	0	0	"
	1.5	10.1	0.10	15.0	4.464	0	5.0	20.0	75.0	0	0	"

表2 遮光量と生育・収量

遮光量の程度	生育				収量 g/m <sup>2</sup>	草丈の分布 %					
	草丈 cm	茎の太さ cm	種皮残 %	茎色		5.0cm 以下	5.0~ 7.5	7.5~ 10.0	10.0~ 12.5	12.5~ 15.0	15.0~ 17.5
黒寒冷紗2枚(遮光率86%、3,200 lux)	10.4	0.10	0	淡	4.766	0	0	35.0	65.0	0	0
" 4枚(" 95%、900 lux)	10.4	0.11	0	"	5.033	0	0	35.0	60.0	5.0	0
6枚(" 98%、300 lux)	11.3	0.10	20.0	白	4.266	0	0	35.0	40.0	25.0	0
定温器内(遮光率100%)	11.2	0.10	100.0	白	3.886	10.0	15.0	10.0	25.0	35.0	10.0

表3 培地と生育・収量

項目 培地	生育			収量 g/m <sup>2</sup>
	草丈 cm	茎の太さ cm	種皮残 %	
紙(ヒヨマルト)	8.0	0.127	0	3.034
礫	8.8	0.128	0	3.809
スポンジ	8.1	0.124	0	2.610
ウレタン	6.1	0.125	0	2.398

2) 菜タイプそば若菜栽培法 表4 は種量と生育・収量

は種	は種量 (10a当)	草丈 cm	茎長 (3葉F) cm	葉幅 cm	茎の太さ cm	茎の赤色 ++	茎重 (体当) g	収量(m <sup>2</sup> 当)		収量 (a当)
								本数	重量	
9月28日	20l	20.5	15.2	3.6	0.22	++	0.93	360	336	33.6
	40l	22.2	16.6	3.5	0.22	++	0.96	560	536	53.6
	60l	21.4	16.3	3.4	0.19	++	0.77	744	576	57.6
	80l	21.7	16.8	3.4	0.19	+	0.78	784	616	61.6
10月9日	40l	17.6	13.1	3.6	0.22	++	0.99	711	703	70.3
	50l	18.7	14.2	3.3	0.20	++	0.94	933	875	87.5
	60l	18.1	13.7	3.4	0.20	+-	0.88	988	868	86.8

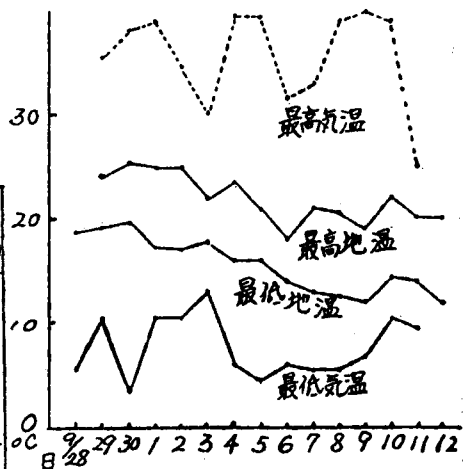


図1 菜タイプそば若菜試験温度経過

表5 遮光量と品質・収量

遮光量	草丈 cm	茎長 (3葉F) cm	葉幅 cm	茎の太さ cm	茎の赤色 ++	茎重 (体当) g	収量(m <sup>2</sup> 当)		収量 (a当)
							本数	重量	
無処理(照度10,000~30,000 lux)	18.4	12.3	3.9	0.27	++	1.25	592	741	74.1
黒寒冷紗1枚(7,000~10,000 lux)	19.5	14.0	3.8	0.25	++	1.07	560	602	60.2
黒寒冷紗2枚(3,500~7,000 lux)	20.3	14.9	3.8	0.23	+	0.91	593	542	54.2
黒寒冷紗4枚(1,200~3,700 lux)	17.9	14.4	2.6	0.15	±	0.47	593	278	27.8